

# 教育委員会会議録

平成30年4月11日（水） 午後1時00分 開会

午後1時35分 閉会

## 1 議事日程

別紙のとおり

## 2 出席した委員等

平松直巳教育長、則竹伸也委員、廣美里委員、大須賀憲太委員、広沢憲治委員

## 3 説明のため出席した職員

新村和昭事務局長、柴田悦己学習教育部長、玉山哲郎生涯学習スポーツ監  
須田文清総合教育センター所長、横井英行総務課長、野村均教育企画課長  
瀬瀬知行財務施設課長、稲垣直樹教職員課長、稲葉均福利課長  
富田正美生涯学習課長、小林整次高等学校教育課長、伊藤克仁義務教育課長  
北島淳特別支援教育課長、木村誠保健体育スポーツ課長、中田勝徳文化財保護室長  
馬場茂インターハイ推進室長、加藤吾郎健康学習室長、上野賢司教職員課主幹  
橋本具征高等学校教育課主幹、伊藤孝明義務教育課主幹  
大谷健二教育企画課課長補佐

## 4 前回会議録の承認

平松教育長が各委員に諮り、前回の会議録は承認された。

## 5 教育長報告

平松教育長が各委員に諮り、報告事項（1）平成30年春の叙勲候補者の内定について、及び報告事項（2）公立学校教員の懲戒処分については、人事案件のため、非公開にて報告を受けることとした。

### （1）平成30年春の叙勲候補者の内定について

非公開において報告されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

### （2）公立学校教員の懲戒処分について

非公開において報告されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

### （3）損害賠償請求事件について

稲垣教職員課長が、損害賠償請求事件について報告。

平松教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

### （4）平成30年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施結果について

小林高等学校教育課長が、平成30年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施結果について報告。

平松教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(廣委員)

第2次選抜の各学校の募集人員をみると、尾張東部においては、2クラス規模の欠員が生じている学校もあった。本件については、新聞でも報じられていたが、その記事を県民が見たとき、その学校はどのような学校なのか、という角度で捉えられると思う。

今回の結果を踏まえ、今後の改善が図られていくと思うが、新聞記事から県民がいろいろな感情を持つと思われるので、魅力ある県立学校を目指している中で大変残念なことだと思う。

今回の入試結果についても県内全体の数字で捉えているが、例えば、尾張と三河という大きな学校群があるが、この学校群別に集計するということが可能であれば、尾張の特徴、三河の特徴がわかるのではないかと思う。今後いろいろなことを考えていく中で、見通しというのがどの程度あるのか教えていただきたい。

(小林高等学校教育課長)

現在、分析中であり、確たることは言えないが、いくつかの情報では、全日制の欠員数の増を超える、私学の欠員数の減があったということも聞いており、これらも含めて原因について、これから把握していきたい。

また、尾張、三河などの地域も踏まえながら、分析を進めてまいりたい。

- (5) 平成30年度県立特別支援学校の幼稚部及び高等部の入学者選考結果について北島特別支援教育課長が、平成30年度県立特別支援学校の幼稚部及び高等部の入学者選考結果について報告。

平松教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

## 6 請願

請願第5号 部活動、週2日以上は、休養日にすることを求める請願

平松教育長が各委員に諮り、「賛成者なし」により本請願は不採択とされた。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(大須賀委員)

本県の部活動の休養日や活動時間について、現在はどのようになっているのかを教えていただきたい。

(木村保健体育スポーツ課長)

昨年3月に策定した「教員の多忙化解消プラン」において、暫定的に中学校では週2日以上、高校では週1日以上の休養日を設けることとしている。

なお、部活動指導の新たな指針となる「部活動指導ガイドライン」の策定作業を現在進めているが、この3月に、スポーツ庁が「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定したため、それを踏まえ、本県の実態に合った休養日や活動時間の基準のほか、活動計画の作成・活用についても示してまいりたいと考えている。

(大須賀委員)

スポーツ庁が示した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」では、休養日や活動時間の基準はどのように示されているのか。

(木村保健体育スポーツ課長)

スポーツ庁が示したガイドラインにおいては、中学校の休養日は週当たり2日以上、1日の活動時間は平日2時間程度、休日は3時間程度とされており、高等学校段階についても中学校の基準を原則として適用すると示されている。

(広沢委員)

教員の多忙化解消への取組について、生徒、保護者、職員への周知は非常に大切なことであるが、今後はどのように進めていく予定か。

(野村教育企画課長)

保護者に教員の多忙化解消への理解を求めるための文書について、町村教育委員会で活用していただくための文書は既に送付済みであるが、県立学校で活用していただくための文書についても、県立学校長会に諮った上で、平成30年4月をめどに各県立学校へ送付予定である。

また、取組等を周知するためのパンフレットについて、引き続き平成30年度も作成し、名古屋市を除く市町村教育委員会、市町村立小中学校、県立学校等に配布予定である。

加えて、平成30年度は、広報あいちなどを活用したPRについても検討しているところである。

今後も、様々な機会を捉えて、生徒、保護者、職員への周知を進めてまいりたい。

## 7 議案

平松教育長が各委員に諮り、第17号議案 平成31年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択基準(案)については、審議会に諮る前の意思決定過程の情報であるため、非公開において審議することとした。

第15号議案 平成31年度県立愛知総合工科高等学校専攻科の入学者選抜の実施について

小林高等学校教育課長が、平成31年度県立愛知総合工科高等学校専攻科の入学者選抜の実施について請議。

平松教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(廣委員)

専攻科の1期生が昨年度修了し、よいところに就職されたと聞いた。そういう情報は、教育委員会として把握しているのか。また、そういう情報があると積極的に募集ができると思うが、そのあたりの情報は教育委員会としてはどのように取り扱っているのか。

(小林高等学校教育課長)

昨年度修了生の進路状況であるが、34名のうち26名が就職し、7名が大学に編入学している。主な就職先は、トヨタ自動車株式会社、トヨタ車体株式会社、デンソー株式会社、アイシン精機株式会社、オークマ株式会社、中部電力株式会社等である。また、進学先は、愛知県立大学、愛知工業大学、中部大学、愛知工科大学等の愛知県内の大学の3年次へ編入している。

また、進路実績を活用した募集については、検討しながら進めていきたい。

(廣委員)

愛知総合工科高校は、県としても期待を寄せて作った学校でもあり、そういった意味で、公設民営化したという実績だけではなく、運営についても一丸となって盛り上げていくという姿勢が大事だと思う。進路実績の情報共有も含め、よりよい雰囲気づくりをしていけたらと思う。よろしく願いしたい。

第16号議案 平成31年度使用県立学校(高等学校及び特別支援学校高等部)教科用図書採択の基本方針について

小林高等学校教育課長が、平成31年度使用県立学校(高等学校及び特別支援学校高等部)教科用図書採択の基本方針について請議。

平松教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

第17号議案 平成31年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択基準(案)について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

8 協議題

なし

9 その他

なし

10 特記事項

- (1) 平松教育長が今回の会議録署名人として大須賀委員を指名した。
- (2) 宮崎邦彦氏から、部活動、週2日以上は、休養日にすることを求める請願について口頭陳述したい旨の申し出があり、平松教育長が、前回会議録の承認後、3分以内に限り口頭陳述することを許可した。
- (3) 傍聴人 2名